

予算の概要

■ 一般会計の歳入と歳出のポイント

歳入

市税

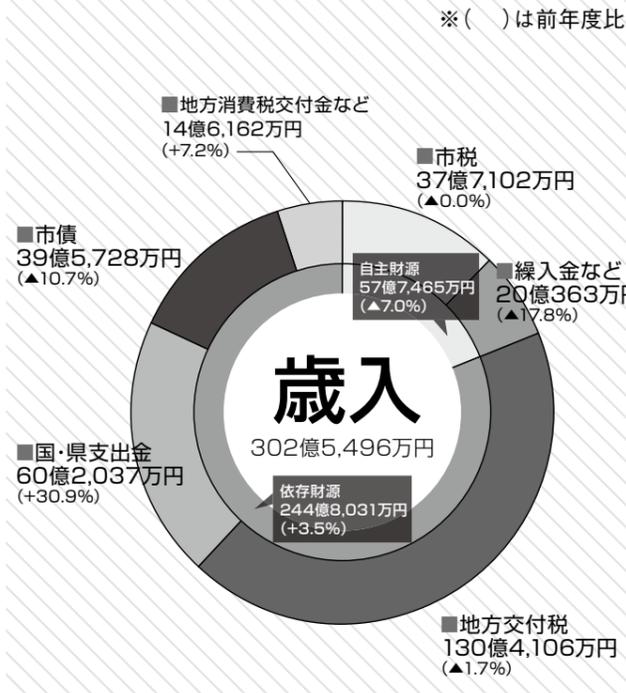
個人市民税は給与所得額の増による微増が見込まれる一方、法人市民税は、企業の設備投資による減益の影響から減額を見込み、個人・法人を合わせた市民税全体では、前年度比0.7%減の15億2,216万円となっています。また、固定資産税では家屋の新築などによる微増が見込まれるため、市税全体では前年度とほぼ同額の37億7,102万円を見込んでいます。

地方交付税

合併前の旧市町ごとに算定される額の合算額を下回らないように特例で交付されてきた普通交付税の段階的な縮減が5年次目を迎えることを考慮して、地方交付税全体で前年度比1.7%減の130億4,106万円を見込んでいます。

市債

市債については平成30年7月豪雨災害などに係る災害復旧事業や、第2期長期総合計画・前期実施計画に計上した各種整備事業を実施するための財源などとして、前年度比10.7%減の39億5,728万円を見込んでいます。災害復旧に係る借り入れが8億5,990万円のほか、保育所施設整備事業5億8,050万円、新焼却施設整備事業3億3,240万円、過疎地域自立促進基金への積立3億5,190万円などの借り入れを予定しています。



歳出

扶助費

障害者支援事業や自立支援事業の増額などにより、前年度比2.4%増の37億4,697万円を見込んでいます。

公債費

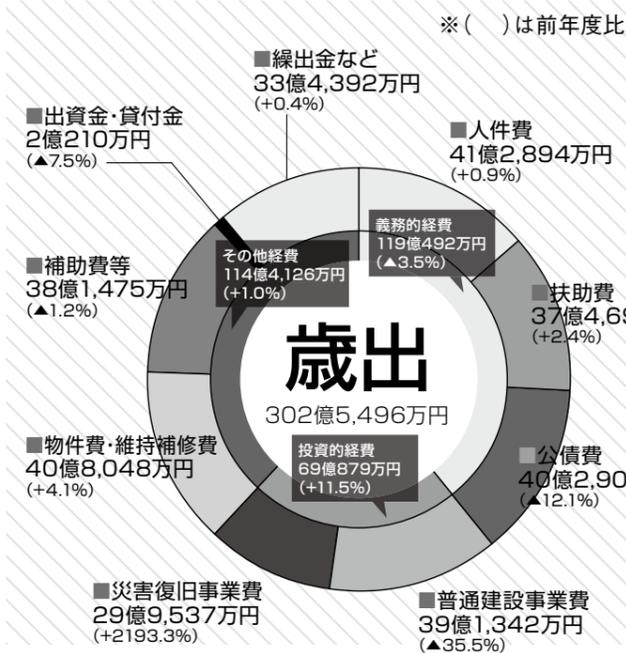
計画的な借り入れにより、前年度比12.1%減の40億2,902万円を見込んでいます。

普通建設事業費

豪雨災害からの復旧・復興に重点的に取り組むための調整により、前年度比35.5%減の39億1,342万円を見込んでいます。西城保育所改築事業、新焼却施設整備事業、道路新設改良事業などを行います。

補助費等

「第2期持続可能な財政運営プラン」に基づく取り組みにより、これまでの事業実績や費用対効果などを検証し、制度内容の見直しを行っています。本年度は、前年度の事業補助金に加えて、各種団体などへの運営補助や、イベント補助、個人給付の見直しなどを行ったことで、前年度比1.2%減の38億1,475万円を見込んでいます。



▶▶ 補助金ガイドブックをご活用ください!! ◀◀

ガイドブックは市ホームページに掲載するほか、財政課および各自治振興区窓口へ設置しています。

市民の皆さんが「生活の場」、「地域活動の場」など多様な場面で活用できる補助金をまとめたガイドブックを作成しています。本年度は、「第2期持続可能な財政運営プラン」に基づく取り組みとして補助金制度の見直しを行っており、昨年度と比べ補助率や補助単価などが変更となっている場合があります。また、補助金申請額が当初予算額に達した時点で受け付けを終了する補助金もありますので、補助金の活用を希望する場合は、お早めに担当部署へお問い合わせください。

令和元年度 当初予算

財政課 財政係 ☎ 0824-73-1129

庄原市の1年間のお金の使い方をまとめた令和元年度予算が決定しました。令和元年度当初予算では、昨年7月に発生した豪雨災害から一日も早く市民の皆さんの安全・安心な暮らしを取り戻すための復旧・復興を最優先事業としています。また、最重要課題である人口減少への対応をはじめ、中山間地域を取り巻く課題が年々深刻化する中、「庄原いちばんづくり」に掲載した施策・事業を着実に推進するとともに、将来を見据えて安定的な行政サービスを提供し、多岐にわたる行政課題に対応するため、「第2期持続可能な財政運営プラン」に基づく予算編成を行いました。

一般会計の予算規模は、302億5,496万円（前年度比+1.3%）となっており、特別会計は、13会計の総額で130億81万円（前年度比▲0.9%）、水道事業会計と病院事業会計は、合計で33億5,950万円（前年度比▲4.2%）となっています。

この結果、一般会計、特別会計および公営企業会計に比和財産区特別会計の380万円を合わせた庄原市全体の予算規模は、前年度比+0.3%の1億3,298万円増額となる、466億1,908万円となっています。

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。 ※▲はマイナスを表しています。

予算額

■ 会計別の令和元年度予算額および前年度予算額との比較

会計名	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
一般会計	302億5,496万円	298億6,331万円	3億9,166万円	1.3%
特別会計	130億81万円	131億1,508万円	▲1億1,427万円	▲0.9%
住宅資金特別会計	388万円	447万円	▲59万円	▲13.2%
歯科診療所特別会計	2,243万円	2,566万円	▲324万円	▲12.6%
休日診療センター特別会計	1,261万円	1,247万円	14万円	1.2%
国民健康保険特別会計	40億5,294万円	43億2,421万円	▲2億7,127万円	▲6.3%
国民健康保険特別会計（直診勘定）	8,551万円	8,292万円	259万円	3.1%
後期高齢者医療特別会計	6億6,410万円	6億5,728万円	683万円	1.0%
介護保険特別会計	62億9,760万円	61億9,340万円	1億420万円	1.7%
介護保険サービス事業特別会計	5,657万円	5,946万円	▲289万円	▲4.9%
公共下水道事業特別会計	11億6,184万円	10億5,834万円	1億350万円	9.8%
農業集落排水事業特別会計	3億6,885万円	4億1,628万円	▲4,743万円	▲11.4%
浄化槽整備事業特別会計	2億7,239万円	2億4,364万円	2,875万円	11.8%
工業団地造成事業特別会計	10万円	3,496万円	▲3,487万円	▲99.7%
宅地造成事業特別会計	199万円	199万円	0万円	0.0%
企業会計	33億5,950万円	35億499万円	▲1億4,550万円	▲4.2%
水道事業会計	18億6,191万円	21億58万円	▲2億3,867万円	▲11.4%
病院事業会計	14億9,759万円	14億442万円	9,317万円	6.6%
比和財産区特別会計	380万円	271万円	109万円	40.4%
合計	466億1,908万円	464億8,610万円	1億3,298万円	0.3%

予算の用途

■ 目的別に見た市民1人に使われる市のお金（一般会計）

一人当たり 85.4万円 人口 35,416人（平成31年2月28日現在）							
民生費	公債費	総務費	災害復旧費	衛生費	土木費	農林水産業費	その他
高齢者・障害者などの福祉、子育て支援などに	市債（借入金）の元金と利子の返済に	自治振興、生活交通対策、戸籍事務などに	公共土木施設・農林水産施設の災害復旧に	医療の充実、健康診査、ごみ処理、水道事業などに	道路整備、区画整理、公園・公営住宅の管理などに	新規就農者支援、農業担い手支援、森林整備などに	学校教育、社会教育、市議会運営、商工業、観光振興、防災などに
22.2万円	11.4万円	10.0万円	8.5万円	7.9万円	7.1万円	6.6万円	11.9万円

● 平成30年7月豪雨災害の復旧事業 ●

令和元年度当初予算では、平成30年7月に発生した豪雨による災害復旧事業費等として、29億9,537万円を計上しています。

公共土木施設災害復旧事業 （市の管理する道路、河川などの復旧）22.4億円		農林水産施設災害復旧事業 （農地や、農業用施設、林道などの復旧）7.5億円	
●公共土木施設災害復旧事業（過年）	21億5,210万円	●農地災害復旧事業（過年）	2億3,000万円
●公共土木施設災害復旧事業【単独】（過年）	6,000万円	●農業用施設災害復旧事業（過年）	3億4,500万円
●社会教育施設災害復旧事業（過年）	125万円	●林道災害復旧事業（過年）	7,212万円
●その他公共施設災害復旧費（過年）	176万円	●現年度発生災害分（現年）	1億3,314万円

主な事業

■ 庄原いちばんづくりの3つの基本政策に沿った事業を紹介します

「地域産業」のいちばん

比婆牛ブランド化の推進

2,968万円

継続

比婆牛のブランド化とPRの推進により、産地としての維持拡大を図る仕組みづくりを推進します。あわせて、「比婆牛」の生産母体となる雌牛「あづま蔓」の増頭を支援します。

サテライトオフィス誘致

449万円

拡充

都会ではできない新しい働き方を推進し、働く場の創出と都市部からの移住定住者の増加を目的に、既存施設を利用したお試しオフィスの整備・運営およびモニターツアーなどを行います。また、誘致促進の支援制度も創設しました。

森林経営管理事業の推進

5,172万円

新規

新たな森林経営管理制度の創設に伴い、専門知識を有する「庄原市森づくりアドバイザー」を設置し森林整備および森林資源の有効活用を推進します。また、森林経営管理に関する意向調査を行い、林業経営の集積・集約化を図ります。

こんな事業も

● 中小企業振興対策:8,674万円 ● 有害鳥獣対策:4,248万円 ● ドローン活用の推進:251万円

「暮らしの安心」のいちばん

新焼却施設の整備

5億8,406万円

継続

竣工後25年が経過し、老朽化の進行と令和4年3月末までの設置期限が迫る備北クリーンセンターおよび東城ごみ固形燃料化施設の廃止を含めた施設の集約化により、効果的かつ効率的なごみ処理を行います。

西城保育所改築事業

5億9,125万円

継続

建築後40年を経過し、老朽化の進む西城保育所を移転改築し、地域における子育て支援の課題と保護者ニーズに柔軟に対応できる施設を整備します。

周産期医療運営支援

1,800万円

継続

本市の中核病院である庄原赤十字病院での周産期医療運営に対し、助産師の人材確保などの経費について財政的支援を行います。

こんな事業も

● 高齢者などの生活支援:3,876万円 ● 外国語指導助手の追加配置などによる外国語教育の充実:3,789万円
● 第3子以降保育料無料化および第2子保育料半額化(継続) ● 斎場の整備:2,435万円

「にぎわいと活力」のいちばん

庄原市民会館整備事業

1,131万円

新規

芸術・文化活動の拠点施設である庄原市民会館を大規模改修し、現代的な利用ニーズを踏まえた機能増進を図ります。本年度は改修全体の基本計画を策定します。

比婆いざなみ街道物語の推進

1,436万円

継続

各種多様な地域資源の認知度の向上、観光誘客、地域経済の活性化を図るため、シンポルイベントである第3回比婆いざなみ街道マラニック大会の開催や魅力発信に取り組みます。

庄原版DMO設立支援事業

1,050万円

新規

市域全体で観光消費額を向上させるため、マーケティング・プロモーション業務、着地型観光推進業務、地域商社業務を担う「庄原版DMO」の形成・確立に取り組みます。

こんな事業も

● 定住促進事業:4,518万円 ● 地域おこし協力隊の推進:1,922万円
● 国営備北丘陵公園北入口エリア社会実験事業:1,471万円

第2期持続可能な財政運営プランによる取り組み

令和元年度当初予算における第2期持続可能な財政運営プランによる効果額は次のとおりです。

歳入			歳出			目標額および効果額の合計		
取組項目	目標額	当初予算取組効果額	取組項目	目標額	当初予算取組効果額	合計	目標額	当初予算取組効果額
市税	767万円	758万円	物件費	▲1億6,065万円	▲1億5,515万円	合計 (B-A)	▲4億968万円	▲4億1,312万円
財産収入	100万円	787万円	補助費等・負担金	▲1億2,051万円	▲9,842万円			
諸収入等 (広告料収入など)	400万円	1,413万円	公債費	▲4,502万円	▲5,452万円			
歳入合計(A)	1,267万円	2,958万円	繰出金	▲2,083万円	▲2,545万円			
			普通建設事業費	▲5,000万円	▲5,000万円			
			歳出合計(B)	▲3億9,701万円	▲3億8,354万円			